

保障見直し特約 目次

(2024年 4 月実施)

- | | | | |
|-------|--------------------------|-------|---------------|
| 第 1 条 | 用語の定義 | 第 4 条 | 見直し後特約の継続取扱 |
| 第 2 条 | 特約の適用 | 第 5 条 | 普通保険約款等の規定の適用 |
| 第 3 条 | 見直し後特約の責任開始期および見直し前特約の消滅 | | |

保障見直し特約

(用語の定義)

第 1 条 この特約において使用する次の各号の用語の意義は、それぞれ当該各号に定めたとおりとします。

号	用語	意義
(1)	保障見直し	すでに締結されている特約組立型総合保険契約において、付加されている 2 以上の特約（保険給付のある特約に限ります。以下本条において同じ。）うち一部の特約の解約【備考 1】とあわせて特約を中途付加することをいいます。
(2)	見直し前特約	前号の保障見直しにおいて、解約【備考 1】により消滅する特約【備考 2】をいいます。
(3)	見直し後特約	第 1 号の保障見直しにおいて、中途付加された特約をいいます。

(特約の適用)

第 2 条 この特約は、保険契約者(以下「契約者」といいます。)の申出により会社の承諾を得て保障見直しを行なう場合に、特約組立型総合保険契約に付加して適用するものとします。

(見直し後特約の責任開始期および見直し前特約の消滅)

第 3 条 見直し後特約の責任開始期は、見直し後特約の特約条項に定める「中途付加された特約の責任開始期」の規定によるものとします。

2 見直し前特約は、見直し後特約の責任開始と同時に消滅します。

(見直し後特約の継続取扱)

第 4 条 見直し後特約について次の各号の事由が発生した場合には、会社は、それぞれ当該各号に定めるところにより取り扱います。

号	発生した事由	取扱の内容
(1)	被保険者が見直し後特約の責任開始の日から起算して 2 年以内の自殺により死亡し、見直し後特約の死亡保険金または収入保障年金の免責事由に該当した場合	保障見直しが行なわれず見直し前特約が消滅しなかったものとした場合に見直し前特約において支払われるべき死亡保険金額（換算保障額を含み、以下「見直し前特約の死亡保険金額」といいます。）の範囲内で見直し後特約の死亡保険金または収入保障年金を支払います。この場合、見直し前特約の死亡保険金額をこえる部分については、責任準備金を契約者に支払います。

第 1 条 備考

【備考 1】特約の解約

特約の保険金額等の減額を含みます。

【備考 2】消滅する特約

保険金額等の減額が行なわれる特約については、その特約のうち減額によって消滅する部分とします。

(2)	見直し後特約の中途付加の申込の際の告知義務違反により、見直し後特約が解除事由に該当した場合	見直し後特約の解除は行ないません。ただし、見直し後特約の保険金額、給付金額または年金額が、見直し前特約におけるそれらに対応する金額をこえる部分については解除を行ないます。
(3)	見直し後特約の保険金、給付金または年金の支払事由の原因が見直し後特約の責任開始期前に生じていたために、見直し後特約の保険金、給付金または年金が支払されない場合	それらの原因のうち見直し前特約の責任開始期以後に生じていたものについては、見直し後特約の責任開始期以後にそれが生じたものとみなして取り扱います。ただし、見直し後特約の保険金額、給付金額または年金額が、見直し前特約におけるそれらに対応する金額をこえる部分については、この限りではありません。

(普通保険約款等の規定の適用)

第5条 この特約に別段の定めのない事項については、この特約が適用された特約組立型総合保険契約の普通保険約款および見直し後特約の特約条項の規定によるものとします。